

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査における

北九州市立 鴨生田 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 算数)

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能	・様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力

※全ての実施教科で、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問うようにしています。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

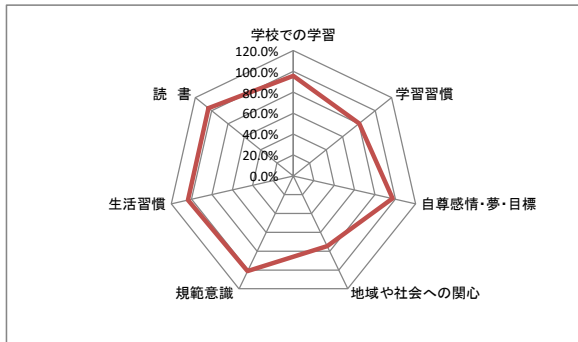
(1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.1	65	9.0	64
全国	8.9	64	9.3	67

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと に課題がある。 自分の考えをまとめたり、目的に応じて質問を工夫したりすることに課題がある。 	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	<ul style="list-style-type: none"> 学年別漢字配当表に示されている「対象」や「関心」を正しく使うことに関する問題は、正答率が高い。 	
	努力が必要な問題	<ul style="list-style-type: none"> 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く問題は、正答率が低い。 	
算数	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> 図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することに課題がある。 量と測定についての理解に課題があり、構成要素や測定方法についての理解を深める必要がある。 	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	<ul style="list-style-type: none"> 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取る問題は、正答率が高い。 	
	努力が必要な問題	<ul style="list-style-type: none"> 示された計算の仕方を解釈し、成り立つ性質を理解する問題は、正答率が低い。 	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析	
<ul style="list-style-type: none"> 「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目では、肯定的に回答した児童の割合が全国と比べて高い。 「学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか」の項目では、肯定的に回答した児童の割合が全国と比べて高い。 「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか」の項目では、肯定的に回答した児童の割合が全国と比べて高い。 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の項目では、肯定的に回答した児童の割合が全国と比べて低い。計画表を作って取り組むことだけでなく、頭の中で時間の使い方を想定することから始めてもよいことを働きかけるようにする。 	

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成31年度全国学力・学習状況調査の子どもの自己採点と解説の事後学習の実施 (4月19日) ○ 学力向上推進研修の実施 (5月29日) <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国学力・学習状況調査の子どもの自己採点結果を基に、課題のある設問に関する改善策を検討する。 ○ 学力向上のための特設時間の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝自習と朝の裁量時間で、全校一斉に帯取りの[鴨生田タイム]を設定して取り組む。(水～金曜日) ・ 放課後の補充学習を抽出児を対象に取り組む。(毎週木曜日) ○ 平成31年度全国学力・学習状況調査の結果による校内研修 (9月4日) <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の結果と、経年比較による結果を分析する。 ・ 学力調査結果からの課題と対策の共通理解を図る。 ・ 生活習慣、学習習慣の調査結果概要からの実態把握をする。 ・ 正答率の低い問題を確認し、指導方法についての共通理解を図る。 ○ 「書くこと」と「振り返ること」の習慣化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習終末の振り返り活動を記述形式で行う。 	
---	--

② 家庭生活習慣等に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習への働きかけ <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校通信等で、家庭学習の重要性を啓発するとともに、家庭学習の時間を10分×学年+10分とし、その時間につり合う課題を与える。 ・ 学級指導で、家庭学習への取り組み方の指導を継続して行う。 ○ 家庭学習の取組についての校内研修会の開催(5月29日) <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭学習の時間を10分×学年+10分とし、その時間につり合う課題を与える。 ・ 「鴨生田スタンダード」として、全学年統一した自主学習の内容を決めて実践する。 ○ 全国学力・学習状況調査の結果、及び分析内容の保護者への周知 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校通信、学校ホームページで発信する。 ○ 二島中学校区の小中一貫・連携教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対人スキルアップ研修と生涯にわたるメンタルヘルス研修を合同で行う。(8月1日) ・ 人権教育研修を合同で行う。(鴨生田小学校の学習参観と講演会 11月20日) 	
---	--